情報を伝える　魅力が伝わる　十日町市をもっと好きになる

とおかまち

Public Relations 市報
2016/10
平成28年 2月10日号
No.261

新水（しんずい）のハネッケーシにて
（記事14ページ）

主な内容

2 特集 コモ市交流40周年
ピックアップニュース
6 大地の芸術祭の里2016冬
8 公売のお知らせ
9 本人通知制度開始のお知らせ
連載コーナー①
10 こへび隊・サポーター通信／ファインダー／キラメキワーカーズ
12 タウントピックス
15 お知らせ・ガイド
連載コーナー②
20 熱中・夢中／おらほのたから
22 ジュニア芸術祭

特集

未来へつなぐ友好のきずな

十日町・コモ姉妹都市交流40周年

●問合せ＝企画政策課広報広聴係☎757-3112

十日町市とイタリア・コモ市が姉妹都市の提携をして、平成27年で40年の節目を迎えました。これを記念した事業を通じて、姉妹都市としての交流のさらなる深化を約束し合いました。これまでの友好の歴史と40周年の取組みを振り返ります。

十日町市と同じく絹製品の産地として名高いコモ市は、その絹織物を仲立ちにして、1975年（昭和50年）2月27日に姉妹都市提携を結びました。姉妹都市提携が始まって以来、5年ごとに使節団がお互いの市を訪問しているほか、小学校同士の交流や青少年を対象とした交換留学など、さまざまな取組みによる交流が続けられています。

姉妹都市は貴重な財産

文化・言語・習慣の違う両市が違いを乗り越え、その違いに誇りを感じ、すばらしい関係を築いてきました。その道のりはとても長く、そのために捧げられた努力を忘れてはなりません。姉妹都市関係は両市にとって貴重な財産であり、両市民が協力して友情を深めていくための交流の歩みでもあります。これからも両市の平和・幸福・発展を願っています。

コモ市
マリオ・ルチーニ市長
Mario Lucin

コモ市はこんなところ

■面積：37.34平方キロメートル（十日町市の約16分の1）
■人口：8万4,000人
イタリアの北部、スイスとの国境の都市で、商業の中心ミラノにほど近い場所にあります。ヨーロッパ屈指の伝統あるリゾート地で、コモ湖畔の別荘地や古い石畳の街並みなど美しい景観を誇る街です。

40周年の取組み 2015年

それぞれの親善使節団がお互いのまちを訪問しました。

7月 コモ市から十日町市へ

ステーファノ・レニャーニ市議会議長をはじめ、12人の使節団が訪れました。滞在中は、記念式典や歓迎行事を開催したほか、大地の芸術祭の作品鑑賞や市内視察などを行いました。

歓迎パーティでは、使節団の皆さんへ浴衣をプレゼントしました。

十日町市での記念式典。お互いの理解をさらに深めました。

茶道を体験するコモ市使節団の皆さん。日本の歴史や文化を肌で感じました。

10月 十日町市からコモ市へ

関口市長を代表に公式使節団10人と市民使節団を合わせた56人がコモ市を訪問しました。コモ市で開催された記念行事に参加しました。

子どもたちの歌声で歓迎してくれました。

コモ市での記念式典で並ぶ両市長。さらなる交流の発展を約束しました。

コモ市役所の中庭での集合写真。

姉妹都市交流40年の歴史

昭和50年２月27日　春日由三市長とアントニオ・スパリーノ市長による調印式（コモ市庁舎）。

昭和61年９月５日～９日、10周年記念使節団、第３回青少年使節団が訪問。

平成12年、姉妹都市提携25周年を記念して十日町市の国宝「火焔型土器」のレプリカを贈呈。

平成22年の35周年記念式典で、ステファノ・ブルーニ市長に記念品を贈呈する関口市長（コモ市庁舎）。

1973年（昭和48年）　絹織物親善使節団が訪問
1974年（昭和49年）　市議会で姉妹都市提携を全会一致で議決
1975年（昭和50年）　コモ市と姉妹都市盟約書に調印
1977年（昭和52年）　絹織物親善使節団が訪問
1980年（昭和55年）　５周年親善使節団が訪問
1981年（昭和56年）　５周年親善使節団が来市
1982年（昭和57年）　第１回青少年親善使節団が訪問
1983年（昭和58年）　コモ市青少年親善使節団が来市
1984年（昭和59年）　「イタリアンフェア」を開催
　第２回青少年親善使節団が訪問
1985年（昭和60年）　10周年親善使節団が来市
1986年（昭和61年）　10周年親善使節団・第３回青少年親善使節団が訪問
1990年（平成２年）　15周年親善使節団・第４回青少年親善使節団が訪問
1991年（平成３年）　十日町・コモ姉妹都市交流協会が発足
1992年（平成４年）　「ボンジョルノ・イタリア91」開催
　姉妹都市交流協会使節団が訪問
1993年（平成５年）　姉妹都市交流協会の新春コンサート使節団が訪問
1994年（平成６年）　相互派遣による、ビデオを制作
1995年（平成７年）　20周年親善使節団が来市・訪問
1996年（平成８年）　川治小学校とコモ市内の小学校が姉妹校提携
　国際交流員としてアドゥア・カスターニョさんを招待
1998年（平成10年）　コモ市から小船「ルチア」が贈呈
　川治小学校児童が訪問
1999年（平成11年）　25周年親善使節団が訪問
2000年（平成12年）　25周年親善使節団が来市
　公式親善使節団が訪問し、モニュメント像「友愛」を贈呈
　コモ市で市芸術協会が芸術交流展を開催
2001年（平成13年）　コモ・とおかまち2001を開催
2004年（平成16年）　十日町石彫シンポジウムにコモ市から２人の作家を招待
　30周年事前使節団が訪問
2005年（平成17年）　30周年親善使節団が訪問・来市
　青少年交換留学事業を開始
2010年（平成22年）　35周年親善使節団が訪問
2011年（平成23年）　ハープ奏者ファビウス・コンステ―ブルさんが来市
2013年（平成25年）　イタリア人観光客誘致ツアーを実施
2015年（平成27年）　40周年親善使節団が来市・訪問

昭和56年５月９日～13日、コモ市５周年記念使節団が来市。

平成10年にコモ市から贈られた、コモ湖のシンボルとして現在も湖畔に浮かぶ小舟「ルチア」。

平成12年、十日町市の彫刻家　藤巻秀正氏による「友愛」の像をコモ湖畔に設置。

平成23年、長野県部地震で被災した当市を訪れ、学校などでハープを演奏してくれたファビウスさん。

交流を深める力

姉妹都市交流を盛り上げていきたい

第１回　交換留学生
太田　留美さん
（本町７- ２・31歳）

もともと外国に興味があり、自分の視野を広げるチャンスだと思い交換留学に参加しました。コモ市では、ホストファミリーの日常生活を体験し、家庭料理も教わりました。交換留学は、ゆったりとした生活リズムや、いつも笑顔で明るい気質など、文化や人柄の違いを直接肌で感じることができます。普通の旅行では味わうことができないすばらしい経験です。

交換留学をきっかけに十日町・コモ姉妹都市交流協会に加入し、コモ市との交流活動に参加しています。これからは、もっと市民が直接関われるように解放的な活動を展開できると良いと思っています。交換留学生同士の輪を広げたり、若い人や市出身者からも関わってもらったりしながら姉妹都市交流を盛り上げていきたいです。

青少年交換留学生

これからの姉妹都市交流を担う若い人材を育むための取組みです。毎年、両市からそれぞれ２人程度の青少年が選出され、お互いの市を訪問し、２週間程度のホームステイをします。お互いの文化を学び合う貴重な機会を通じて、交流の懸け橋となる若い世代が着実に増えています

・事業開始＝2006年
・実績＝これまでに16人が十日町を訪れ、19人がコモ市を訪れました。

たくさんの皆さんから、コモ市への理解を深めてほしい

十日町・コモ姉妹都市交流協会
副会長　**村尾　隆**さん
（南新田町１・65歳）

今後はコモ市との相互の理解をさらに深めるため、５年ごとの周年事業のほかにもお互いに訪問するなど、新たな分野での交流も模索していきます。交換留学生や交流協会の若いメンバーを中心に、より市民の皆さんが参加できるような新しい取組みの検討を計画していきます。今までコモ市のことを知らなかった人や、若い人たちからも多く関わってもらい、コモ市との交流活動をきっかけに世界に目を向けた活躍をしてほしいです。

十日町・コモ姉妹都市交流協会

市民同士の交流を目的に、設立された民間の団体です。幅広く心の通い合った交流とするために、ファミリアコマスカ（コモ市の民間団体）と連携しながら青少年・産業・経済・スポーツなど交流事業を実施しています。

・設立＝1991年
・会長＝丸山秀二さん
・会員＝個人：115人
　法人：23法人
・取組み＝青少年交換留学事業、コモ市フォトコンテスト出展事業など

交流協会会員募集

十日町・コモ姉妹都市交流協会では、会員を随時募集しています。これからの姉妹都市交流を一緒に盛り上げませんか。コモ市との交流に関わりたい人は気軽に問い合わせてください。

●**年会費**＝個人会員１口：1,000円
　法人会員１口：１万円

問十日町・コモ姉妹都市交流協会事務局（十日町商工会議所内☎757-5111）

越後妻有 雪花火

花火とLEDアートで彩る雪の夜、一瞬の光芒（こうぼう）

冬の夜空に花火を打ち上げ、真っ白な雪の世界を一瞬浮かび上がらせます。

雪上花火としては世界最大級の三尺玉に加え、今年も雪原に光の花畑を作り上げる高橋匡太さんのアート作品が展開。投雪機を使ったライティングパフォーマンスも登場し、地元食材を活用した屋台も並びます。

雪国ならではの楽しさが詰まった一夜限りの特別な時間を、ぜひ会場で堪能してください。

日 3月5日㈯屋台：午後5時～8時、LED作品：午後5時30分～8時、花火：午後7時30分～数分間※天候によっては花火の打ち上げを中止することがあります

会 ナカゴグリーンパーク

¥ 千円、小・中学生500円

■問合せ＝観光交流課芸術祭企画係 ☎757―2637

※イメージ

地元食材を使った料理が食べられる屋台で心も体もぽかぽか。（午後5時～）

投雪機を使ったライティングパフォーマンスも登場する予定です。

毎年大好評の高橋匡太さんのLEDアート作品「Gift for Frozen Village2016」

無料シャトルバス運行表

会場には一般車両の入場ができません。必ず無料シャトルバスを利用してください。徒歩で会場にはあがれませんので注意してください。（シャトルバス運行の安全確保のため）

会場行き

※花火打ち上げ間際に到着するシャトルバスは混雑が予想されます。時間に余裕を持って乗車してください。午後7時より早い時間に会場に到着する便の利用をおすすめします

※キナーレ発シャトルバスは大変混み合います。十日町地域振興局発・青果市場発は比較的に余裕があります

【十日町地域振興局発】
（十日町市役所本庁舎、十日町駅西口経由）
※臨時駐車場：十日町地域振興局、十日町市役所本庁舎

振興局発	16:30	～以降、10分ごとに発～	19:10
会場着	17:10		19:50

【青果市場発】
（JA十日町経由）
※臨時駐車場：青果市場、JA十日町

青果市場発	16:30	～以降、15分ごとに発～	19:25
会場着	16:50		19:45

【キナーレ発】 ※臨時駐車場：キナーレ、立正佼成会十日町教会

キナーレ発	16:30	～以降、10分ごとに発～	17:30	17:35	～以降、5分ごとに発～	19:20
会場着	16:50		17:50	17:55		19:40

【千手中央コミュニティセンター発】（木島町バス停、川西高校前バス停、上野JAぴっとランド経由）
※臨時駐車場：千手中央コミュニティセンター、十日町市役所川西庁舎、新潟県信用組合川西支店、川西中学校、川西高校、川西総合体育館

千手コミセン発	16:30	～以降、10分ごとに発～	19:30
会場着	16:50		19:50

【かわにし雪まつりめぐり専用シャトルバス】

三箇（原田バス停）発	16:40	17:20	18:10	18:50
野口（野口バス停）発	16:45	17:25	18:15	18:55
仁田（橘小学校前バス停）発	16:50	17:30	18:20	19:00
上野（上野小学校前バス停）発	16:55	17:35	18:25	19:05
元町（ナカゴグリーンパーク入口）発	16:53	17:38	18:28	19:08
会場着	17:00	17:40	18:30	19:10

会場発 帰りのバス

※19:45分以降バスが満員になり次第、順次発車します

※かわにし雪まつり各会場へのバスは19:50発（三箇着20:10）、20:30発（三箇着20:50）の2便です

Pick Up 公売のお知らせ

差押財産のインターネット公売を実施します

●●●●●問合せ：税務課管理収納係☎757-3113

市では、官公庁オークション（運営：ヤフー㈱）で、市税の滞納者から差し押さえた財産をインターネット上で公売します。

●**公売方法**＝せり売り形式
●**公売場所**＝Yahoo!（ヤフー）オークション内の「官公庁オークション」
●**公売参加申込期間**＝2月16日㈫午後1時～26日㈮午後11時まで
●**入札期間**＝3月4日㈮午後1時～3月6日㈰午後11時まで
●**売却決定日時**＝3月7日㈪午前10時
●**買受代金納付期限**＝3月14日㈪午後2時30分まで
※この公売に参加するには、あらかじめ「Yahoo! JAPAN ID（ヤフージャパン）」を取得する必要があります
・公売物品の詳細や申込方法などについては、市ホームページやヤフー官公庁オークションのホームページ（http://koubai.auctions.yahoo.co.jp/※「十日町市」を選択）で確認してください

公売物品の下見会

公売物品に興味のある人や、入札を考えている人は、ぜひ下見会で実物を確認してください。※要事前申し込み
●**日時**＝2月23日㈫午前10時～正午
●**場所**＝保健センター（市役所隣）
●**申込先**＝上記問合せ先
●**申込期限**＝2月22日㈪午後5時

【不動産１点】

売却区分	所　在	地目・面積	見積価格	公売保証金
1	（土地）柏崎市大字南条字馬場3575番８　外18筆	宅地・2,186.71平方メートル（登記簿面積）	446万円	45万円

【動産７点】

売却区分	物品名（材質など）	規格等（単位：ミリメートル）	見積価格	状態
2	香炉	万菊香炉、直径100×高さ110、外箱付	3,000円	傷や汚れあり
3	花瓶	九谷焼　九谷長山、直径90×高さ255、花台付	1,000円	傷や汚れあり
4	花瓶	九谷焼　石盛堂製、直径240×高さ245、花瓶底面に珠峰と明記	3,000円	傷や汚れあり
5	扇	純銀製、縦132×横210　内箱・扇台付	4,000円	傷や汚れあり
6	トヨタミニカー５台セット×３	①ist（黒・銀・茶・白・紫） ②VOXY（紫・紺・黒・銀・白） ③Vitz（薄緑・青・銀・白・赤）	3,000円	経年による汚れあり
7	AKBツアーグッズほか	クリアファイル・ハンカチ・Tシャツ・マフラータオル・ビニール袋	500円	一部開封
8	雑誌「いい旅北から各駅停車」	昭和56年７月20日発行、全116ページ	2,000円	傷や汚れあり

Pick Up 住民票取得などの運用変更のお知らせ

3月1日から本人通知制度を開始します

●●●●●問合せ：市民生活課市民年金係☎757－3116

住民票の写しや戸籍証明書などを本人以外の第三者に交付した事実を本人に通知する制度を開始します。住民票の写しなどの不正請求や不正取得を抑制し、個人の権利侵害を防止するために実施するものです。
※交付の可否を確認したり、交付をできないようにしたりするものではありません

第三者とは

・本人から依頼を受け、本人の委任状を持参した本人の代理人
・代理人以外の第三者
※ただし国や地方公共団体の機関からの請求で交付したときは、本人通知の対象としません

対象となる証明書の種類

市で交付できる証明書に限られます。
・住民票の写し、住民票記載事項証明書、消除されてから5年以内の住民票の写し
・戸籍の附票の写し（消除された附票を含む）
・戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）、戸籍一部事項証明書（戸籍抄本）、戸籍（除籍）記載事項証明書

登録者本人に通知する内容

・交付した交付年月日
・交付した証明書の種別と通数
・交付した第三者の区分

登録の期間

登録した日から5年目の年の12月31日まで
※再度登録を希望する人は改めて申し込みが必要

登録申し込みのできる人

国内に住所がある、対象となる証明書に記載がある人

事前登録申し込みの受付開始日

3月1日㈫

登録手続きのできる場所

・市民生活課・各支所市民課
※市外に住んでいる人や病気などで窓口に来ることができない人は、郵送でも申し込み可

登録時の持ち物

・本人確認書類（運転免許証、パスポートなど）
※代理人が申し込むとき、本人の委任状（法定代理人のときはその資格を証する書類）
※登録申込書は窓口に設置します（市のホームページからも入手可）

大地の芸術祭の里 こへび隊・サポーター通信㉒

岡崎　多美さん（東京都在住・36歳・会社員）

越後妻有という土地が好き

▼こへび隊としての活動

―母の出身地で大きな芸術祭があると知ったのが5回展のころで、こへび隊にも興味を持ちました。これまで作品制作・管理・ガイドに参加し、今は事務局スタッフとしても活動しています。通年で活動をしていると、よく顔を合わせるこへび仲間ができて楽しいです。

▼越後妻有の魅力とは？

―夏は暑く冬は豪雪で、住むには過酷な環境だと聞きます。でも、その自然環境がたまらなく好きで、都市から移住する人が増えている理由が分かる気がします。過疎化や高齢化、限界集落などの話題も耳にする中、芸術祭を6回も成功させた越後妻有のパワーはすごい！20数年前に家族で帰省していたころからは想像もつかないくらい発展を遂げたと感じます。

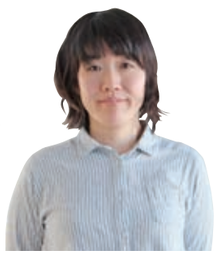
▼次の参加の予定は？

―冬のイベントは今年で2回目。雪見御膳で活動予定です。たくさんの人と交流して冬の越後妻有を楽しみつつ、こへび隊として盛り上げていきたいです。

■問い合わせ先
「大地の芸術祭」の里
総合案内所
☎761―7767

移住者が撮るとおかまち Finder ファインダー

池谷集落での田んぼ作業をきっかけに、十日町市の皆さんとのつながりを深めたくて移住しました。



鯨井　恵理子さん（松代・広島県出身・30歳）

1 田んぼ大好き！ 田んぼのまわりはとてもにぎやか♪
2 アート田植え 写真右下に××を植えちゃった思い出。
3 家づくり 池谷集落の移住者用住居建設のお手伝い。ドリルで穴をあけまくる。
4 雪かき雪ほり 豪雪の池谷分校・やまのまなびやで雪ほり体験。
5 月見音楽祭 美佐島駅前で月を見ながら音楽を聴く夜。
6 お手伝いの楽しみ 古民家修復のお昼ごはんは最高に美味。
7 十日町ご飯屋さんの実力 いこての建物＆味＆価格に魅了されました。
8 はざかけ 池谷集落のはざかけは高い杉の木の間。てっぺんまでいけました。
9 大地の芸術祭 友人たちと十日町中をまわりました。
10 さとナビ さと記者として十日町情報を発信するのがマイブーム。

若者×若者 キラメキワーカーズ☆

～語る　仕事・会社・十日町市への思い～

十日町市の仕事人

酒井　善行さん（南鐙坂・29歳）

専門学校卒業後に県外で就職していたが、地元での就職を希望して帰郷・就職。金属など再生資源の受け取りや仕分けを担当して２年目。

村山　愛さん（為永・29歳）

市内で専業主婦をしていたが、子育てがひと段落して勤務を始める。商品の製造や梱包作業を担当して２年目。

■問合せ
産業政策課
☎757-3139

子 育てとの両立

村山さん―「女性福祉が充実」という求人を見て魅力を感じました。職場の人たちは子育てに理解がありますし、経験豊富な先輩ママも多いので安心して仕事ができています。

酒井さん―県外へ出ていましたが、実家を継ぎたいという思いがあり十日町市へ帰ってきました。これまでの仕事で重機を使っていたことがあり、経験を生かせるのではないかと思い当社への就職を希望しました。

初 体験の連続

村山さん―幅広い商品を扱っているため、中には年に1度しか扱わない季節商品もあります。商品によって梱包の手順などが違うので一つ一つを確実に行い、間違えないよう気を付けています。

酒井さん―再生資源の仕分けでは鉄・アルミなど複数の素材が組み合わされたものを解体することがよくあります。初めて見るものも多く、要領を掴んでいる先輩の解体作業を見ながら、日々勉強しています。

先 輩から学ぶこと

村山さん―今は6人の班で仕事をしていますが、チームワークが大事だと感じています。まだ教えてもらうことが多いですが、先輩たちにしてもらったように、次に教えていけるようになりたいです。

酒井さん―先輩たちは資源が搬入される曜日や時間など、いろいろなことに気を配りながら作業効率を考えているように感じます。そうした先輩の仕事ぶりを見て、学んで、次に伝えていけるようになりたいです。

協力企業　求人あり

■㈲井上商店
（取材地：エコ・リバース第１工場）

- 製品・製造販売、廃棄再生処理業務など
- 十日町市南新田町２（工場は吉田山谷）
- 従業員40人
- ☎757-3335
- 企業理念である「資源は有限、再生は無限」に基づき、商品作りに力を入れています。

まちの話題 タウントピックス TOWN TOPICS

遊びながら地域を学ぶ

１月16日㈯：松之山自然休養村センター

「濡れし葉に 輝き咲くや シラネアオイ」「広くてね けしきがいいよ 大厳寺」――。松之山地域の歴史・文化・風俗・景観などを五・七・五で表現した、46枚の「松之山ふる里かるた」を使用する、新春松之山ふる里かるた大会。子どもを中心に約20人が参加し、楽しみながら地域の文化を学びました。

都心に雪を運び続けて25年

１月10日㈰：世田谷区役所前

世田谷新年子どもまつりのために雪を運ぶ活動も、今回で25回目となりました。まつりは２万3,000人の来場者でにぎわい、30トンの松代地域の雪で作られた滑り台やかまくらはなんと２時間待ち。参加者は「雪を見たり触ったりするのは初めて。雪の滑り台もとても楽しかった。来年も体験しに来たい」と雪を通じた交流を楽しみました。

泥団子が壁になる!?

１月17日㈰：㈱協和建設倉庫

今年の春にオープンする市民交流センター「分(ぶん)じろう」に市の文化や歴史を紹介する部屋ができます。その部屋の壁になる1万2,000個の泥団子を、述べ150人ほどの市民などの手で作りました。この日参加した服部拓磨さん（荒屋・27歳）は、「自分で作ったので愛着がわくし、子どもにも自慢できてうれしい。完成が楽しみ」。

雪国で世界をつなげよう

１月22日㈮：清津峡温泉せとぐち

世界の皆さんが十日町市の豪雪に大喜びしました。これは、雪の降らない国からの観光客を増やすための「豪雪体感・雪国体験ツアー」で、アジア圏の旅行代理店社員などのほか、ヨーロッパなどからの留学生が参加。かまくら作りやスノーシュー、いろり端での食事を体験したマーク・アップルトンさん（ドイツ出身・22歳・慶応義塾大学）は「東京から近いのにこんなに壮大な雪の世界を体験できると思わなかった。人がとても温かい」と初めての雪国体験を満喫しました。

松代の横綱、優勝で堂々の土俵入り

１月24日㈰：まつだいふるさと会館

大相撲初場所の15日間の取組10番を予想する松代大相撲の千秋楽。第136回を数え、８部屋合わせて211人が勝敗予想を競いました。今年の東の横綱になった「九州山昭夫」関（写真）は、成績下位だった去年の初参加から大昇進で、来年は「初心に帰って再挑戦したい」と意気込みました。※西の横綱は「平田山紅三」関でした

さりげない感謝の気持ちを形に

１月30日㈯：キャンパス白倉

閉校した小学校の校舎をさらに活用してもらおうと、水引細工ワークショップを開催しました。のし袋などに使われる水引を応用してチョコレートのラッピングに挑戦。参加した江口幸子さん（77歳・小白倉）は「手作りでさりげない感謝の気持ちを形にできるのがうれしい。ぜひまた開催して欲しい」と意欲いっぱいに話していました。

市のふるさとづくりが総務大臣賞を受賞

１月23日㈯：オークラ千葉ホテル（千葉市）

平成27年度ふるさとづくり大賞で、市が地方自治体表彰（総務大臣賞）を受賞しました。全国に先駆けて「地域おこし協力隊」を導入し、70％を超える高い定住率を生み出す、効果的なまちづくりなどが評価されました。

地域の住民の話を聞く吉川裕子さん（地域おこし協力隊）

神奈川の子どもたちが田舎を体験

１月20日㈬：まつだいふるさと会館

湘南学園小学校（神奈川県藤沢市）の５年生85人が「雪の学校」と題して越後田舎体験に訪れました。２日目のワラゾウリ作りでは、松之山在住のおじいちゃん・おばあちゃんから編み方や、つぎ方を教わり、一人一足を作成。自分で完成させたワラゾウリを履いて「気持ちいい～」「チクチクする」と満足そうでした。

街並みに溶け込む新たな装い

12月15日㈫：釜田市営住宅

松代地域では、平成23年度から「街並み景観再生事業」を展開し、歴史的な景観を生かした街並みの整備を進めています。その一環として今回、老朽化した釜田市営住宅を木材のこげ茶とオレンジのコントラストが美しい外観に一新。カール・ベンクスさんのデザインを取り入れ、明るいイメージに生まれ変わりました。

まちの話題 タウントピックス TOWN TOPICS

しーばんトリも、ごーばんトリも、たちあーがれ　ホーイ　ホイ

1月10日㈰：小谷

大地の芸術祭の取り組みで8年前から復活した小谷集落の鳥追い。今年も約20人の子どもたちがみのとわらぐつをまとい、提灯（ちょうちん）を持って集落を回りました。東京都目黒区から参加した三宅逸生さん（7歳）は、「生まれて初めての雪。民具は歩きづらかったけど、楽しかった」と雪国の伝統行事を楽しみました。

みんな一緒に楽しむ伝統行事

1月17日㈰：新水地内

「コーン」「コーン」と雪原に木の羽根が跳ね返る音が響きます。新水のハネッケーシは、大人から子どもまで、住民も来訪者も一緒に遊ぶ伝統行事。ドウラクジンと併せて無形民俗慣習として市の文化財に指定されています。行事には約80人が参加し、そのひとときを楽しみました。大地の芸術祭サポーター「こへび隊」として参加した渡部瑞生さん（埼玉県蕨市・20歳）は、「都市にはない地域の温かさや、やわらかさを感じた。また来たい」と話しました。

新婚夫婦の幸せを願って「むこ投げ・すみ塗り」

1月15日㈮：松之山温泉薬師堂

むこ投げは少雪の影響が心配されましたが、前日に温泉組合員が中心になり雪を集めて実施しました。主役の細山さん・寺島さん夫妻（いずれも東京在住）は、例年と違う、やさしいむこ投げを楽しみました。その後のすみ塗りも、積雪が足りず地面を掘って賽の神を立て開催。雪国の「奇祭」に外国人や国内外からメディアの取材も多く訪れ、会場は、すみを塗り、塗られる人たちの笑い声で包まれました。

みーっけた！雪の上でかるた大会

1月11日（成人の日）：大井田コミュニティセンター前広場（四日町）

大きなかるたをめがけてヨーイドン！―。大井田雪上かるた大会は、地域の伝統文化を次世代に伝えながら雪を楽しもうと始めてから25年になります。会場には約50人が集まり、熱戦が繰り広げられました。大嶋恋羽さん（東小3年）は、「雪の上でやるところが楽しかった。チームで優勝できてうれしい。来年もまた参加したい」と目を輝かせていました。

GUIDE ～お知らせ・ガイド～

催し・講座

まちなか手しごと広場

十日町雪まつりに合わせて開催します。

日 2月20日㈯・21日㈰午前10時～午後5時※21日は3時まで
会 ふらっとステーション（本町2）
内 わら細工・ちんころ・染織などの実演販売と手織り体験（コースターづくり）
¥ 体験500円
問 手しごと屋・ワタヌキ（☎080―6521―3195）

わんわん運動会in雪まつり

愛犬と一緒にゲームをしながら雪上を駆け回ってみませんか。※荒天時は事業を縮小

日 2月21日㈰午前10時～午後1時30分※受付9時～
会 十日町雪まつり・つまり広場（川治地内）
¥ 犬1頭につき千円※事前申込み不要
他 動物愛護協会への加入は別途、賛助会員年会費千円・一般会員年会費2千円
問 十日町保健所衛生環境課（☎757―2707）

リサイクル本市 懐かしい本に会いに行こう

不用になった図書・雑誌を提供します。入手困難な本や、珍しい記事が掲載された雑誌が手に入るかもしれません。

日 2月27日㈯～3月6日㈰午前9時～午後7時
対 情報館・分室で利用登録している人
¥ 1冊50円※豪華本などは特別価格あり
持 持ち帰り用の袋やカバン・細かいお金（なるべくおつりがでないように）
他 集まったお金は本の購入費に充てます
会・問 情報館（☎750―5100）

男女共同参画補助事業 ベトナムの風に吹かれて

認知症の母親を引き取り、ベトナムで生活する日本人女性を描いた大人の青春映画です。

日 2月27日㈯午後1時30分～4時30分※受付午後0時30分～
¥ 千円※コーヒー・お菓子代含む
定 80人程度※定員になり次第締切
内 女性の生き方を考える映画を鑑賞後、お茶をしながら話し合います
● チケット取り扱い＝中央公民館・各地区公民館・十日町シネマパラダイスほか
会・問 十日町シネマパラダイス（☎752―7505）

親と子のコミュニケーションの在り方（講話）

講師の話を聞いて、コミュニケーションのねじれを解消しましょう。

日 2月27日㈯午後2時～4時
会 ふらっとステーション（本町2）
¥ 300円
講 小林富貴子さん
申・問 フォルトネット・関口（☎090―4955―4169）

平成27年度情報館主催 第4期コンピューター講習

マイクロソフト社製のオフィス2013を使用します

【ワードで作ろう！チラシ・ポスター作成コース】
日 3月8日㈫～29日㈫の毎週火曜日午後7時～8時30分（4回）
対 ワードの基本的な操作ができる人
¥ 3千円
内 見栄えの良いチラシ・ポスター作成のポイント

【エクセル練習（基本編）】
日 3月17日㈭～31日㈭の毎週木曜日午後2時～3時30分（3回）
対 エクセルの基本的な操作ができる人
¥ 2250円
内 エクセル初級者向けの演習問題

【パワーポイント講習】
日 3月11日㈮～25日㈮の毎週金曜日午後7時～9時（3回）
対 キーボードでの文字入力、マウス操作ができる人
¥ 3千円
内 分かりやすく伝わるプレゼンテーション資料の作り方

（共通）
定 各コース先着18人※5人以下の場合は中止のときあり
会・申・問 希望のコース・郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、はがき・FAXまたは電話で〒948―0100（町2）

広告掲載

通信制高校への
転入学 高校を変えたい 編入学 中学卒、高校を中退 新入学 現在中学3年生 をお考えならば
学校法人 佐藤学園
ヒューマンキャンパス高等学校
☑3年で卒業可能
※転編入学の方は前在籍校の単位や在籍期間が引き継げる事もあります。
☑登校ペースを自分で決定できる
☑マンガ、タレント、メイク、ネイル、医療など高校科目以外のことも学べる ※希望制
個別相談・学校見学 随時受付中 お気軽にご相談ください（要予約）
年間学費 306,000円から（消費税込 年間24単位の場合）
就学支援金対象校 115,488円が返還されます。※支給条件あり
【学習センター】新潟／十日町／魚沼／湯沢／佐渡
新潟エリア総合窓口 025-246-0550

※市では広告を募集しています。詳しくは広報広聴係まで

ハピコン♥クッキングパーティー
かんたんアレンジ♥ほめられごはん

講師が丁寧に教えてくれるので、料理が苦手でも大丈夫です。

日３月19日㈯午前10時～午後３時
会千手中央コミュニティセンター
対30～45歳までの独身男女
¥男性2500円、女性２千円
定男女各10人※応募多数のときは抽選。結果は後日郵送
〆男性：３月２日㈬、女性：３月９日㈬

【男性応募者事前説明会】
応募多数のとき、男性は事前説明会の参加者を優先して抽選します。
日３月５日㈯午後６時～７時30分※予定
会情報館

申・問エフエムとおかまち（☎752-7830）

手作りみそ体験教室

農家のお母さんが地元産の材料を使って教えます。

日３月11日㈮午後１時～３時、12日㈯午前10時～11時、13日㈰午前９時～正午※13日（家庭での作り方の講習）のみの参加も可
会〒072西本町２―１―１情報館（☎750―5100、F750―5103）
¥２５００円
定先着20人
持エプロン・三角巾・マスク・みそ５kgを持ち帰り
他みそ５kgを持ち帰り
〆３月４日㈮
申・問農林課農業企画係（☎757―3120）

イジメ撲滅チャリティープロレス

市内初の電流爆破マッチで、子どもたちに勇気と元気を与えます。

日３月20日㈰キッズプロレス教室：午後１時30分～２時、公式試合：２時～４時30分
会クロステン
¥２５００円（当日３千円）、学生千円（当日のみ）※中学生以下・70歳以上無料
内キッズプロレス教室・じゃんけん大会・プロレス５試合・チャリティー屋台
●チケット取り扱い＝コンビニ（セブン―イレブン・ローソンほか）・ポスター掲示店など
●参加する選手＝大仁田厚さんほか
問㈱ファーストオンステージ（☎03―5777―5361）

募集

市民の皆さんから意見募集 公立保育園の統廃合及び民営化計画（第２次実施計画）案

パブリックコメントとして意見を募集します。
●募集期間＝２月15日㈪～３月４日㈮
●資料の閲覧場所＝本庁・各支所・情報館・各地区公民館・市ホームページ
●意見の提出方法・問＝郵送・ＦＡＸ・電子メール（t-kosodate@city.tokamachi.lg.jp）のいずれかで、〒948―8501千歳町３―３子育て支援課保育園係（☎757―9169、F757―3800）

短歌募集 第30回黄桜の丘桜まつり

●歌題＝黄桜・信濃川・ふきのとう※１人３首以内
●選者＝平野綱一さん
●発表＝４月29日（昭和の日）黄桜の丘桜まつりにて※入賞者には賞品あり
〆３月31日㈭必着
申・問住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号・短歌をはがきで〒949―8492上山己2133十日町市観光協会中里事務所（☎763―3168）

市民みんなで学び合い 生涯学習人材バンク「学びあい」の登録者募集

市民が持つさまざまな知識や技術・技能体験を生かし、市民同士で学び合う機会を広く提供するために、生涯学習人材バンク登録者を募集しています。登録者からは、市民の要請に応じ講演や実技指導などをお願いします。

対生涯学習活動に関する特技や技術・知識などを有し、生涯学習に対して深い理解や熱意を持って指導できる人や団体
※指導者の身分を利用した政治的活動や宗教活動および営利活動は認めません
●登録分野＝文化芸能活動・スポーツ活動・福祉活動・農業や園芸活動・その他学習活動
●申込期限＝２月29日㈪※期限後も随時受付
●登録情報の利用＝人材情報がまとまり次第、市ホームページで公開し、公民館などに冊子を配置
●登録方法＝登録申込書（各公民館に配置。市ホームページからも入手可）を各公民館に提出
問生涯学習課（☎757―8918）

市施設管理者

対60～69歳の人
●募集人数＝若干名
●任用期間＝原則として１年
●就業先＝サンクロス十日町・公民館など
●選考方法＝書類審査など
〆２月19日㈮
申・問履歴書を（公社）十日町地域シルバー人材センター（☎752―0888）

在職者訓練

【難削材の切削加工技術】
日３月11日㈮午前９時30分～午後４時
¥３９００円
定20人※申込み多数時は抽選
内難削材料の最適な切削条件の設定と加工法
〆３月３日㈭

【ビジネススキル向上コース】
日３月17日㈭・18日㈮・22日㈫・23日㈬午後６時30分～９時
¥２４００円
定15人※申込み多数時は抽選
内ビジネスマナー・コミュニケーション技法・ビジネス文書・接待マナーなど

職員募集　十日町市教育支援員（臨時職員）

市内小・中学校で介助が必要な児童・生徒に、授業や課外活動で個別支援し、教員を補助する職員を募集します。
●募集人数＝３人程度
●選考方法＝書類選考・面接
●任用期間＝４月１日～平成29年３月31日まで（予定）※夏休み期間を除く
●勤務時間＝午前８時15分～午後４時15分※休憩１時間
●休日＝土・日曜日、祝日、年末年始※学校行事により振替勤務のときあり
●勤務地＝市内小・中学校
●賃金＝時給840円※教員免許（種別問わず）・保育士・ヘルパーなどの有資格者は900円
●加入保険・手当＝社会保険加入、通勤手当あり
〆２月24日㈬
申ハローワーク十日町
問学校教育課（☎757-3336）

職員募集　十日町市社会福祉協議会（看護師）

申し込み方法など詳細は問い合わせてください。

【嘱託職員】
対保健師・看護師・准看護師いずれかの資格と普通自動車免許を所持する人
●雇用期間＝４月１日～平成29年３月31日※試用期間３か月、契約更新あり（正規職員採用試験実施も可）
●給与など＝月額20万円、期末手当・社会保険・退職金あり

【正規職員】
対概ね40歳以下の保健師・看護師・准看護師いずれかの資格と普通自動車免許を所持する人
●雇用開始日＝４月１日※試用期間３か月
●給与など＝月額15万4,800円～25万円程度、昇給年１回・賞与年２回・社会保険・退職金あり

〈共通〉
●募集人数＝各１人
●業務内容＝訪問入浴介護（健康チェック・看護処置・入浴車運転・入浴器具操作など）
●勤務地＝十日町訪問入浴介護事業所※異動あり
●勤務時間など＝午前８時30分～午後５時15分（休憩45分）・完全週休２日（土曜日・祝日勤務あり※交代制）
●選考方法＝１次試験：書類・作文「在宅介護サービスで取り組みたいこと」（400字詰原稿用紙２枚以内）、２次試験：面接
〆２月22日㈪
問十日町市社会福祉協議会（☎750-5010）

〆3月10日㈭
【溶接検定準備コース・4】
日3月22日㈫・23日㈬午前9時～午後4時
対溶接に関して3か月以上の実務経験がある人
¥3900円※材料など持参
定10人※申込み多数時は抽選
内ＪＩＳ評価試験の受験実技課題の練習
〆3月14日㈪
（共通）
会・申・問県立上越テクノスクール（上越市・☎025―545―2190）

上越妙高駅お出迎えキャラクター愛称の人気投票

次の候補から1つを選んで投票してください。※投票特典あり

●**候補**＝ウェルモ・もぐ駅長・モグスキー・もぐたか・もぐてつ・モグネル・モグラン・もぐりん
〆2月19日㈮
●**投票方法**＝越五の国ホームページなどから投票可
問新幹線まちづくり推進上越広域連携会議事務局（上越市役所内・☎025―526―5111）

福祉・健康

介護者のためのリフレッシュ講演会

日2月24日㈬午前10時～正午
会中里庁舎
講富沢一夫さん（上村病院桜湯健康増進施設ゆあーず健康増進室長）
¥100円※要事前申し込み
申・問きらら会・坂野（☎025―788―0731）・十日町南地域包括支援センター（☎758―2324）

子育て

アニメ制作体験

日2月27日㈯・28日㈰の午前10時～正午・午後2時～4時※各日2回
会ベルナティオ森のホール
対親子※1組4人程度
¥1組千円※要予約
内森の生き物たちが登場するオリジナルアニメ制作
持暖かい服装
他子どもの歌や踊りの映像を使ったオリジナルアニメのDVDをプレゼント
申・問あてま森と水辺の教室ポポラ（ベルナティオ内☎758―4811）

まるっとりずむおやこリトミック無料体験会

音楽を体いっぱい感じて楽しい時間を過ごしましょう。
日3月1日㈫午前10時30分～
会十日町産業文化発信館いこて
対0～2才の幼児と保護者
定先着10組
申・問電子メール（marutto88@gmail.com）または電話でまるっとりんく・春日（☎090―8582―7434）

スポーツ

平成28年度学校体育施設開放事業

年間を通してスポーツ活動をしている団体に、主に夜の時間帯で市内小・中学校（指定校）の体育館やグラウンドなどを開放します。使用には利用団体の登録と使用料が必要です。※施設により調整の必要あり
〆2月25日㈭
申十日町地域はスポーツ振興課、その他の地域は各公民館
問スポーツ振興課（☎756―5013）

くらし・相談

申告書は早めに提出を

平成27年分の確定申告は次のとおりになります。
●**所得税・復興特別所得税の相談・申告書受付**＝2月16日㈫～3月15日㈫※個人事業者の消費税・地方消費税の確定申告締め切りは3月31日㈭
休土・日曜日、祝日
【ホームページで申告書が作成できます】
国税庁ホームページ（http://www.nta.go.jp）内の「確定申告書等作成コーナー」は、画面の案内に従って金額を入力するだけで、税額が自動計算され、申告書を作成することができます。ぜひ利用してください。
問十日町税務署個人課税部門（☎756―6001）

国民年金保険料口座振替前納がお得です

前納は、2年・1年・6か月の3種類で利用できます。2年前納したときは毎月納付したときに比べて約1万5千円程度の割り引きになります（口座振替のみで利用可）。
持年金手帳・通帳とその届け出印
〆2月29日㈪
申市民生活課市民年金係（☎757―3748）または各支所市民課
問六日町年金事務所国民年金課（☎025―716―0800）

消費生活移動相談室

弁護士による無料の相談会です。「身に覚えのない利用料を請求するメール（はがき）が届いた」「借金の返済に困っている」などの困りごとに弁護士が相談に応じます。
日3月5日㈯午前9時30分～午後0時30分
会サンクロス十日町（本町5）
〆3月3日㈭
申・問市消費生活相談窓口（☎757―3740）

【市報1月25日号2ページ豪雪ＪＡＭについて】
●**お詫びと訂正**＝出演者でKeycoの読み仮名がケイコとありましたが、正しくは「キイコ」でした。お詫びして訂正します。
●**追加情報**＝市民・津南町民割りがあります。※要身分証明書
¥2千円※当日券のみ

「十日町市原子力災害に備えた避難計画」（案）の市民説明会

東京電力㈱柏崎刈羽原子力発電所での原子力災害に備えた計画案を説明します。
日・会いずれも午後7時～8時30分ごろ

開催日		会　場
2月	17日㈬	松之山自然休養村センター
	18日㈭	千手中央コミュニティセンター
	22日㈪	中里庁舎
	23日㈫	まつだいふるさと会館
	25日㈭	市民会館

問防災安全課防災安全係（☎757-3197）

平成28年度各種検（健）診の申し込みが始まります

●**各種検診申込書を配布します**
2月末に各世帯に「各種検診申込書」を配布します。これは、市の検診の申込書であるとともに、皆さんの受診状況を把握する大切な調査です。受診希望の有無に関わらず、提出してください。
〆3月8日㈫
●**提出先**＝市政事務嘱託員など

●**健康診査（住民健診）の申し込み**
・**40～74歳の人**
生活習慣病予防を目的に、「特定健康診査」を各医療保険者（国保・協会けんぽ・共済組合など）が実施します。職場などで詳細を確認の上、年1回は健診を受けましょう。
※保険の種類によっては、市の住民健診会場で受診できないことがありますので注意してください。
・**16～39歳の人、75歳以上の人**
健康診査（住民健診）を希望する人は、申し込んでください。

1年に1回健康診断を受けましょう
《健康とおかまち21重点目標》

●**胸部レントゲン検査・各種がん検診などの申し込み**
どの医療保険の人でも、対象者は受けることができます。希望する人は、申込書に同封する案内を確認の上、申し込んでください。

●**無料で受診できる検診項目**
下表の年齢の人は、該当の検診が無料で受けられます。この機会にぜひ受診してください。

無料になる検診	対象の年齢（平成28年4月1日現在）
胃がん検診	40歳
大腸がん検診	40歳
子宮頸がん検診	20歳
乳がん検診	40歳
肝炎ウイルス検診	40・45・50・55・60・65・70歳

※詳しい内容は、全戸に配布される各種検診申込書の案内を確認してください

問健康づくり推進課成人保健係（☎757-9764）・各支所市民課

このとき熱中&夢中!

市民活動ネットワークひとサポが、旬な人・団体を紹介します。 95

NPO法人 桂公園こどもランド

みんなで育む思い出広場

「思い出の公園を再生したい!」。高齢化や法改正で活動が難しくなった財団法人桂会に代わり、公園の管理をするため地元有志で発足しました。倒壊寸前の管理棟の改修や遊具の管理だけでなく、コミュニティガーデンでの食育栽培活動など、恵まれた周囲の自然環境を融合させた新たな公園へと発展させていきます。

◆問合せ:事務局・福原久八郎さん(☎757―5901)

幼稚園・保育園の遠足や小学校の課外授業にも利用され、学校帰りの子どもたちや散歩を楽しむお年寄り、週末には家族連れでにぎわいます。

普段ガーデニングを楽しんでいる地域の女性10人程の協力で、新たに花壇を整備。公園を利用する保育園からも善意で苗が届き、その後さらに拡張しました。

昨年11月3日に開催した公園のPRイベントには約1,000人が来場。改修した管理棟と園内は、フリーマーケットやワークショップ、ライブやダンスパフォーマンスでにぎわいました。

45年前、多発する交通事故を憂慮した市内の有志によって造成された桂交通公園。信号機やゴーカートが配備され、自転車教室などの交通指導も行われてきました。しかし平成26年に公園が桂会から市へ譲渡され、地域に管理が任されたものの、体制は不明確なまま。近隣に住む福原久八郎さん(59歳・上原)は、遊具やトイレを備える公園を望む約300人の声を聞き、同年12月、新たな管理団体を設立しました。

市の支援や寄付で行った管理棟の改修工事には、津池のシェアハウスに居た若者たちも参加。PRイベントには市内外から40団体余りが出店するなど、公園は新たな人の流れやにぎわいを育む舞台となっています。食育栽培活動やゴーカートの復活、変わり自転車の導入なども構想中です。

「公園での楽しい思い出が、将来、子育ての場に十日町市を選ぶ契機になれば」と福原さん。多世代の思いが集う広場は、地域を明日につなげる場となるでしょう。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサポ ☎761―7444

おらほのたから

―つなぐ知恵と技―

9

鉄砲打(ぶ)ち

山田 和成(たかなり)さん(土倉・67歳)

昔は毎日を生きるため 今は里山を守るため

和成さんは、30歳の頃から狩猟を始めました。「集落総出で年一回はウサギ狩りをした。その後の宴会が楽しくてね」。生活の一部として、近所や地域の先輩たちとともに山に入るのが楽しみになりました。

「土倉は昔、冬になると近隣の地域との往来が不便で『陸の孤島』だった。道具も食べ物も自分たちでなんとかするしかなかった」。捕獲した獣の肉は大切なたんぱく質の食料、皮は売り物にして生活の糧にしました。

集落のウサギ狩りがなくなって20年近くになり、鉄砲打ちも和成さんだけになりました。「今は生活のためというより、里山の環境を守るため。目的は違えど、変わらずに大切な役割がある。ぜひ若い人にも地域のために仲間になってほしい」。

❶「どの山にどんな獣がいるか分かる」。❷静けさの中、突然鳴り響く銃声。地形を把握して、獣の行動を想定しながら仕止める場所を決めます。❸❹猟の後はしっかり手入れ。「親父がいろりの灰で綺麗にしていたのを思い出す」。❺熊の胃袋は万能薬として高額で取り引きされます。

取材した人

地域おこし協力隊
西潟 いずみさん

今は「害」になることが多い里山の獣も、昔は生活に欠かせない一部で、収入や栄養源だったことは、驚きと興味の連続でした。

山を知っているからこそ成り立つ知恵と技ですね。

里山で育まれた知恵や技をぜひ紹介してください。自薦他薦は問いません。申し込み・問い合わせは企画政策課広報広聴係☎757―3112まで

■発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町３丁目３番地
E-mail koho@city.tokamachi.lg.jp URL http://www.city.tokamachi.lg.jp/ TEL.025-757-3112 FAX.025-752-4635
■編集/企画政策課広報広聴係

ジュニア芸術祭

松代小学校 128

じごくのドラゴン

小堺 奏良（そら）さん（1年）

はがキラキラしているところと、しっぽをまげたところがじょうずにできました。ドラゴンのかおも、じょうずにできてよかったです。

はたをおるつる

河合優希奈（ゆきな）さん（2年）

つるのはねのぎざぎざが少しむずかしかったけれど、はねみたいにすることができました。はたをおるところがうまくかけてよかったです。

いっすんぼうし

柳 まひるさん（3年）

おばあさんが、いっすんぼうしにごはんを食べさせています。金たろうの前かけをしているいっすんぼうしが、かわいらしくかけました。

ぼくはアルペンスキーのジュニアクラブでナイター練習をがんばっています。水色の上に白をぬって雪が降っている感じを出しました。

第二リフトからの滑降

柳 伊吹（いぶき）さん（4年）

みんなで協力してこいだラフティング

野澤 柚季（ゆずき）さん（5年）

水しぶきを、歯ブラシの先を使って描きました。白や青、水色などで、深いところ、浅いところのぬり分けが上手にできました。

花咲ける妻有

藤森 秋季（あき）さん（6年）

私が十日町市に引っ越してきてから初めて見た芸術作品です。絵に迫力が出るように大きく描き、花の部分は強調するために、指で色をぬりました。